

みんなで顔を合わせて「まちづくり」を

地域“あいあい”

ほっとミーティング 開催



7 月4日から7月16日にかけて町内4会場で、町民対話「地域『あいあい』ほっとミーティング」を開催し、町民289人のご参加をいただきました。

町民対話は、町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について理解と関心を持っていただくとともに、各会場で伺った意見をまちづくりに生かすことを目的に、平成11年度から毎年開催しています。

今回は、戸嶋町政となつて初の町民対話として、名称を「地域『あいあい』ほっとミーティング」に改めて開催しました。

この名称には、「町民と『会い』、町民同士が顔を『合わせ』、地域に『愛情』をもってほしい、また、ホットな最新情報を伝えるとともに、町民の皆さんと温かい雰囲気、まちづくりについて熱く語り合う場にした」という思いが込められています。

対話では、人口の推移から見た町の現状や6月補正予算で成立した事業について説明した後、参加者からの質問や意見に対して、町長や担当課長等が説明や回答を行いました。

今月号では、対話の中でいただいた質問や意見の一部を紹介します。

日時	会場	集落	人数
7月4日(木)	あおなみ保育園	坂尻・山上・太田・佐田・北田・けやき台	57人
7月11日(木)	菅浜農業構造改善センター	丹生、竹波、菅浜	52人
7月12日(金)	生涯学習センターなびあす	河原市・南市・和田・木野・佐柿・麻生・中寺・宮代・小三ヶ・新庄・野口・佐野・上野・興道寺・雲谷・小倉・栄	102人
7月16日(火)	県立艇庫	早瀬・笹田・日向・気山・大藪・金山・久保・郷市・松原・久々子・矢筈	78人



↑ 海岸沿いを通る県道佐田竹波敦賀線

原子力災害制圧道路開通後の
町道について

問 来年開通予定の原子力災害制圧道路が完成することで、海岸沿いの県道は町に移管されることになると思います。海岸沿いの道路は「敦賀半島西海岸ゾーン」の観光という観点からも重要です。

答 町道移管にあたり、町がどこまで補修を考えているか教えてください。県により補修が行われた後に、町へ移管されることとなります。

町道への移管にあたっては、補修箇所や工事等について、地元の要望もお聞きしながら県と調整を行っていきます。

ごみ処理施設について

問 今後、ごみ処理について敦賀市との広域化を予定していると聞きましたが、時期や分別方法を教えてください。

答 計画では、令和4年度をめどに敦賀市のごみ処理施設へ搬入することとなっております。新たな処理施設は令和8年度に新設予定で、4年間は既存の処理施設へ搬入することとなるため、敦賀市の分別ルールに合わせてごみ出しをお願いすることとなります。

また、最終処分場についても敦賀市と一緒にする予定でしょうか。

答 計画では、令和4年度をめどに敦賀市のごみ処理施設へ搬入することとなっております。新たな処理施設は令和8年度に新設予定で、4年間は既存の処理施設へ搬入することとなるため、敦賀市の分別ルールに合わせてごみ出しをお願いすることとなります。

産業の活性化について

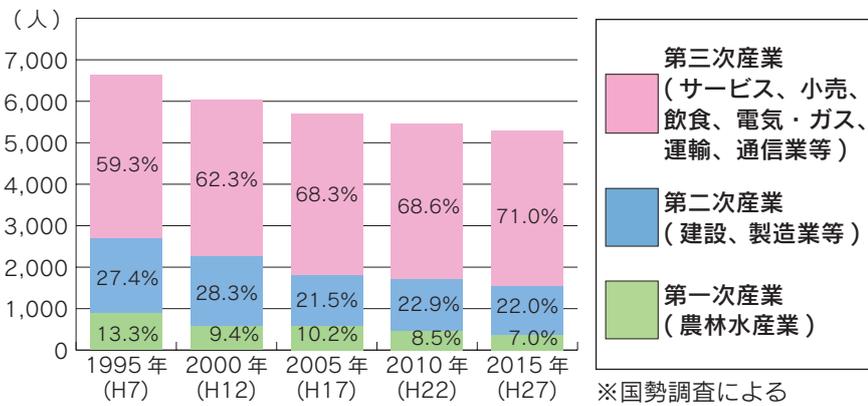
問 町外に出た子どもに帰って来いと言いたいです。IT関係の就職先がないため難しいです。

産業の活性化として一次産業を伸ばすだけでは、働く場所の確保は難しいのではないのでしょうか。

また、新たな処理施設の分別方法については、今後敦賀市と検討して決めていきたいと考えています。

最終処分場についても、令和4年度からの供用開始に向け、敦賀市とともに整備する予定です。

美浜町の産業別就業者の推移



答 若者が帰ってきたいと感じる、魅力的な働き口が必要だと思っています。

現在美浜で頑張っている観光業や製造業等への支援に加えて、産業団地への企業誘致や美浜で起業する人を応援する取り組みを考えています。また、産業版「ほっとミーティング」を開催し、若者も含めてさまざまな意見をお聞きしたいと考えています。

インバウンド対策について

問 インバウンド対策について、町は主に台湾を中心に取り組んでいます。他の国へ向けた取り組みはないのですか。

また、インバウンドの消費を促すためにも免税店について推進してほしいです。

答 インバウンド対策の第1歩として、交流のある台湾を足がかりとして始めた経緯があります。

昨年の町への訪日旅行者数は、1万人を超え、その多くが台湾からの訪日客です。台湾以外についても、世界共通語である英語の重要性を認識して情報発信していきたいと考えています。

また、インバウンド観光客による消費拡大については、受け入れ対策として、町内事業者へのキャッシュレス端末の導入支援を行っています。免税店への申請についても、引き続き、情報提供をしていきたいと思っています。



↑ 日本語、中国語(繁体字)、英語で書かれたタブロイド紙

空家問題について

問 「空き家バンク」制度を活用して、空家問題を解決する人は限られていると思います。

制度が活用されずに空家が荒れ果ててしまい、危険な状態になった場合、町としてどのような対応を考えているかお聞きします。

答 町では、平成29年4月に「空家等の適正な管理に関する条例」を制定し、老朽化した危険な空家を「特定空家」として認定して所有者への適正な管理指導と解体促進に取り組んでいます。

また、解体だけではなく利活用促進のため、空家問題に取り組むNPO法人とも連携しながら「空き家バンク」への登録促進や「空き家マッチングツアー」等の開催を行っています。



↑空き家マッチングツアーの様子

海岸線等のごみ問題について

問 町内の海岸線のごみがひどい状況です。大雨が降ると、耳川から町の指定ごみ袋に入ったごみが流れてくることもあります。

河川や海のごみを除去するだけでなく、町民に対して意識付けをすることも必要ではないでしょうか。



↑海岸に打ち上げられた大量のごみ

答 令和5年春の北陸新幹線福井・敦賀間開業を見据えて、町の名前のおり「美しい浜」をしっかりと売り出していきたいと考えています。

海岸のごみ対策は、町や集落、ボランティア等が活動しても改修しきれない状況であるため、県に対しても町の重要要望の一つとして、支援対策の強化を訴えていきます。

また、海岸をきれいにしようという意識が町全体に浸透するよう、啓発していきたいと思っています。



↑町内外から海岸清掃ボランティアに参加する皆さん

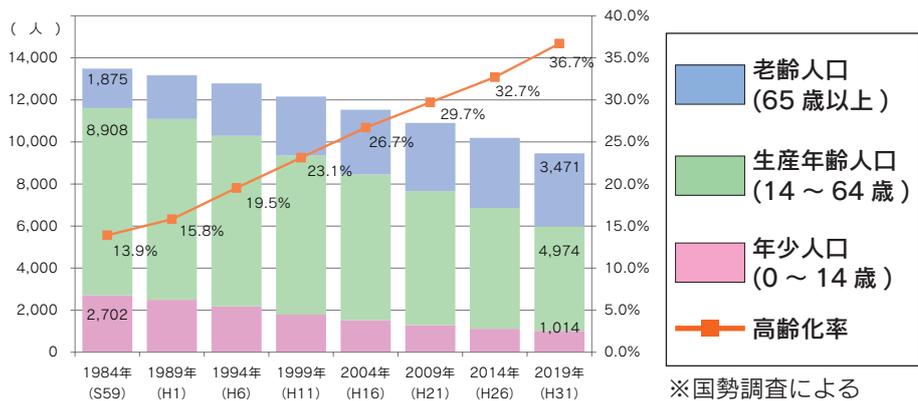
人口減少問題について

問 人口減少問題は、原因を分析しながら対策を講じなければならぬと考えています。県内では、鯖江市に若い女性が定着し、人口も増えているそうです。

町の人口減少対策について、考えをお聞かせください。

答 雇用や住居の確保のために整備した産業団地や美浜東「美し野」ニュータウンには、順調に進出・入居が進んでいます。人口減少は加速しているというのが実態です。

美浜町の年齢区分別人口と高齢化率の推移



どのような理由で、どこへ転出していくのか、ということも含めて細かく分析し、どう対応すべきなのかという議論もしていきたいと思っています。

加えて、晩婚化や第1子の出産年齢上昇による少子化、働き方改革、雇用(収入、所得等)、国レベルの議論も総合的に踏まえ、町としてできることをしっかりと検討していきたいと考えています。

津波対策について

問 原子力災害や洪水等については、十分な対策をされていると思いますが、津波に関する対策が不十分ではないでしょうか。

答 町では「津波ハザードマップ」を作成して各戸に配布をしています。実際に起きた際の対応や避難場所等について、集落の中で話し合っていたらととも、行政としてどのように対応していくのか考えていきたいと思っています。



↑町が配布している津波ハザードマップ

農業問題について

問 10年後の農業では、後継者がいなくなり耕作放棄地が増えていくことが想定されます。

町として、どのような対策を講じる予定ですか。

答 耕作条件の悪い農地での耕作実態をつかみながら、平成27年に策定した「農業基本計画」に沿って計画的に施策を進めています。興道寺の大規模園芸施設や園芸用パイプハウスの整備等、水稲だけでなく園芸への支援も展開しています。

担い手の問題や水稲一辺倒だった農業構造からの脱却、小規模な農地・農業の維持等、さまざまな課題を解決するため、これまで進め



↑興道寺に整備された大規模園芸ハウス

てきた施策を検証しながら美浜町に合ったステップアップができるよう、次期農業基本計画策定の準備を行っています。



↑美浜町農業基本計画 (平成27年策定)

敦賀市との連携について

問 美浜町は、嶺南地方の中心都市である敦賀市とともに発展していくべきだと思います。

敦賀市にのみ込まれるのではなく、町の特性を生かしてまちづくりを進めるのがよいと思います。

答 人口が減少し、効率的な行政運営が求められる中で、すべてを町単独で行うのではなく、共同で連携できるものは連携していく姿勢で行政運営をしていきたいと考えています。

敦賀市とは、ごみの焼却施設や最終処分場、道路の整備等、さまざまな分野で今後も連携し、効率的な行政運営に努めていきたいと思っています。

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください!!

町では、町政に対する町民の皆さまからの意見や要望を「美し・ふるさとご意見箱」や「美し・ふるさとご意見メール」等で随時受け付けていますので、ぜひご活用ください。

【美し・ふるさとご意見箱設置場所】

- ・町役場1階町民プラザ
- ・生涯学習センターなびあす
- ・総合体育館
- ・保健福祉センターはあとぴあ (※)
- ・東部診療所
- ・丹生診療所

(※)令和2年3月末までは施設改修工事のため利用不可

【美し・ふるさとご意見メール】

町ホームページ お問い合わせフォームからご利用ください。





再生可能エネルギーを地域活性化に活用

モデル事業計画の報告会が行われました

■ お問い合わせ先

町エネルギー政策課(担当・山野)

☎32-6716

8月1日に、昨年度の事業として取り組んだ菅浜・上野地区の再生可能エネルギー×地域活性化プロジェクトに係るモデル事業計画の報告会が行われました。

町では、平成29年3月に「美浜町エネルギービジョン」を策定し、エネルギーの面から見た「目指すべき町の姿」の実現に向け、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。

再生可能エネルギー×地域活性化プロジェクトは、集落等が抱えるさまざまな地域課題(地域の活性化等)に対して、再生可能エネルギーの切り口から課題を解決するための先導的な取り組み(モデル事業)を実践し、その手法等を他集落へも波及・拡大させていくことを目的としたものです。平成30年度は、上野区と菅浜区をモデル地域として選定し、コンサルタントの支援のもと、事業の検討を行いました。

上野区は、地区の山林資源のバイオマス資源を活用した薪ストーブを「みんなの茶ノ間八三六」に導入することによる区民の再エネルギー理解促進や光熱費の削減と地区の山づくり



↑活動計画書を報告する菅浜区の代表者

を通じた地域交流の促進を図る計画となっています。

また、菅浜区は、バイオマス熱を活用した農業ハウスでのハーブ栽培や、拠点となる生協への太陽光発電・蓄電池設置による地域住民・観光客向けの電動車両の活用等、地域の活性化と観光振興を図る計画となっています。

報告会当日は、両集落の代表者が、町長をはじめとした町の幹部職員に計画書を報告しました。戸嶋町長は「集落にある資源をうまく活用する内容になっており、町としても技術的な部分を含め、支援していきたい」と話していました。

町の目指すべき方向性を示す

第五次美浜町総合振興計画 後期基本計画
第1回審議会を開催しました

■ お問い合わせ先

町まちづくり推進課(担当・浅妻/伊藤)

☎32-6701

7月25日に「第五次美浜町総合振興計画 後期基本計画 第1回審議会」を町役場で開催しました。

美浜町総合振興計画は、本町におけるまちづくりの指針となる最上位計画であり、町が目指すべき方向性を示すとともに、さまざまな課題を計画性と戦略性をもって進めるためのものです。

本町では「第五次美浜町総合振興計画」を、平成28年度から令和7年度までの10カ年計画として策定しています。令和2年度末で前期基本計画が終了することから、本町を取り巻く情勢の変化や多様な町民ニーズ等に対応するため、令和3年度を初年度とする「第五次美浜町総合振興計画 後期基本計画」を令和元年度から令和2年度にかけて策定します。審議会は、学識経験者や町議会議員、各種団体の代表等20名で構成され、町長からの諮問に応じて調査、審議、答申を行います。

会議では、委員への委嘱状が交付され、戸嶋町長が「前期基本計画で設定した目標や



↑委嘱状の交付を受ける山口区長会長

指標、取り組み等を検証し、町の現状を踏まえながら後期基本計画の検討を進めていきたい」と話しました。

また、委員の互選により審議会会長に選出された山口治和区長会長は「この審議会は、町民の声を反映するため、一生懸命取り組んでいきたい」と話されました。

町長から諮問を受けた審議会は、今後会議を重ねて後期基本計画の検討を進め、令和2年12月ごろに町へ答申を行う予定です。



美浜と台湾の絆をさらに深めて
映画「サクラサク」を台湾で上映しました

■ お問い合わせ先
町観光戦略課(担当・武田定幸)
☎32-6705

8月9日から台湾で上映が始まる、美浜町を舞台にした映画「サクラサク」の先行上映会が、8月6日に台北市、7日に高雄市の映画館で行われました。

同映画は、認知症の祖父と家族の絆を描いた作品で、多くの町民らの協力のもと撮影が行われ、2014年に公開されました。また、2017年には、第1回アジア国際映画祭で最優秀監督賞(田中光敏監督)、最優秀女優賞(南果歩さん)、最優秀映画音楽賞(主題歌「残春」を歌ったさだまさしさん)の3賞を受賞しました。

台湾での上映は、町と30年以上姉妹都市関係にあり、インバウンドの取り組みでも交流を続けてきた新北市石門区の協力で実現し、台北市映画協会と手を結んで準備を進めてきました。映画は「桜花開了」というタイトルで、8月9日から23日までの15日間、台湾各地の13映画館で字幕版が上映されました。

6日の先行上映会には、台湾の映画関係者ら約250人、7日には約400人が集



↑映画と町の魅力をPRする戸嶋町長(左)

まりました。

上映前の舞台あいさつでは戸嶋町長が「美浜町と台湾・新北市は姉妹都市でつながっており、この映画も絆を訴えるすばらしい映画です。ゆつくり見てほしいです」と呼びかけました。また、田中監督は「美浜を舞台とする映画を台湾の皆さんにも見てもらえてうれしいです。これを機に、さらに友好を深めたいです」とあいさつしました。

町では、この上映を契機として、ロケ地巡り等を含め、訪日外国人の更なる誘客を図っていきます。



今後も変わらない友好関係を
姉妹都市台湾・石門区を訪問しました

■ お問い合わせ先
町まちづくり推進課(担当・本間)
☎32-6701



台湾で行われる映画「サクラサク」のプレミアム上映会に先立ち、8月6日に戸嶋町長と崎元町議会議長が台湾新北市の石門区役所を訪問し、林俊宏区長や石門区の各里長、職員等から温かい歓迎を受けました。

美浜町と石門区は、昨年で姉妹都市提携30周年を迎え、行政のみでなく議会や中学校、ライオンズクラブ等、さまざまな分野で交流しており、友好な関係を築いています。

歓迎会では、はじめに林区長が「映画『サクラサク』は、台湾社会がこれから直面するであろう認知症の問題を扱っ

ており、家族の絆と美浜の美しい景色を満喫できるすばらしい作品だと思う。忙しいスケジュールの中、戸嶋町長が石門区を訪れてくれたことを非常にうれしく思う」と歓迎の言葉を述べられました。

また、戸嶋町長は、町長就任以来石門区への訪問を切望していたことを語り「姉妹都市交流10周年の際に植樹した桜は、今春も美しい花を咲かせてくれた。30年にわたる友好の証しとして、ぜひ植樹に当町を訪れてほしい」と呼びかけました。

記念品贈呈では、石門区から美浜町と美浜町議会に対し、鮮やかな牡丹が描かれた絵皿が贈られました。当町からは、石門区役所に対し、フランスのル・サロン展銅賞をはじめに6年連続入賞を果たしている徳賞寺住職の粟谷正光さん(雅号 大雲道人)作の水墨画を、石門区や石門中学校等に対し、2羽の鶴が描かれた越前漆額を贈呈しました。

歓談後には、崎元町議会議長が「石門区と美浜町が一層交流を深め、友好関係が続くように」と結びの言葉を述べられました。